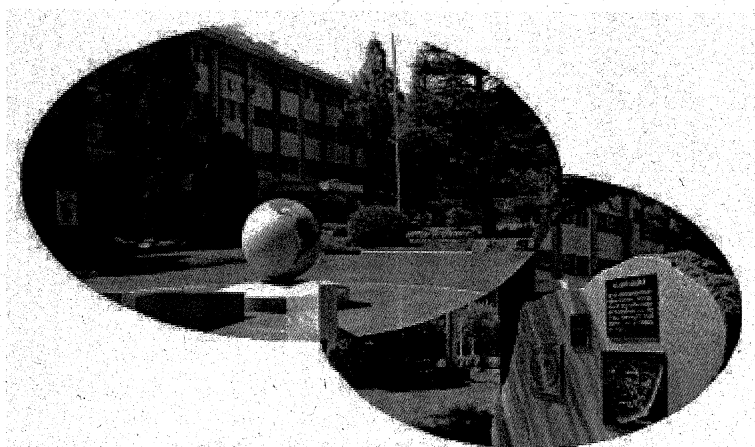


令和5年度

年間学習計画
【シラバス】



生活創造科 3年

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	国語	科目	現代文 A	単位数	3単位
学科	生活創造科		学年	第3学年	
教科書	改訂版 新編 現代文A (第一学習社)		副教材等	実践文字力トリプルチェック (尚文出版) 最新国語便覧 (浜島書店) 国語必携ライクパフォーマンス演習 (尚文出版)	

1 学習の目標

- (1) 漢字力等、国語の基礎学力の向上を図ります。
- (2) 社会生活を送るのに必要な語彙力を向上させ、コミュニケーション能力を高めます。
- (3) 思考力・想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、社会への関心を深めます。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	1 随筆「なぜ「コロンブスの卵」を描くのか」	・先入観や固定観念を見直し、視点や価値の多様性に気づき、視野を広げる。
	5	2 小説「デューク」	・登場人物の心の機微を想像し、小説を読む楽しさを知る。
	6	3 評論「数え方で磨く日本語」	・言葉と文化の関わりを学び、我が国の言語文化への理解を深める。
	7	4 問題演習(ライクパフォーマンス演習)	・漢字・語彙力を高める。 ※教科書の教材と並行して定期的に学習する。2, 3学期も同様。
第2学期	9	5 評論「花女房」	・日本の民話とグリム童話の対比から、文化や価値観の相違を読み取りグローバルな視点を養う。
	10	6 小説「山月記」	・近代小説を通して現代にも通用する人生や人間についての普遍的な考え方を捉え、自己の問題として考える。
	11	7 随筆「出島のチューリップ」	・長崎を舞台にした筆者の回想から、郷土の歴史への関心を高め、郷土愛を再認識する。
	12	8 言語活動「短歌と俳句」	・著名な短歌・俳句に触れ、言葉に対する感受性と表現力を養う。カルタ大会の準備を通して、クラスメートとの親睦を深める。
	12	9 農高百首	
第3学期	1	11 評論「クマを変えてしまう人間」	・自然を見つめる目を養い、自然との関わり方や人間の都合で自然環境を変えてしまうことの危険性に気づく。
	2	12 問題演習(ライクパフォーマンス演習)	
観点別評価法			・読解力・思考力・言葉の知識が身についているかを定期考査や文字力小テストにより評価します。 ・教科学習に対して真摯に取り組み、国語力の向上に努める態度が身についているかを、提出物の状況から評価します。 ・当該学年にふさわしい表現能力・技術が身についているかを、短歌及び意見文課題等から評価します。

3 担当者からのメッセージ

- 1 授業には、必ず教科書・ノート・国語便覧を用意し、必要に応じてタブレット端末を準備してください。
- 2 授業中は、理解が深まるよう、集中して臨むことが大切です。
- 3 授業整理プリントは、「まず自分で解いてみること、書いてみること」が重要です。
- 4 小テスト・課題は、指示された方法で取り組み、期限を守って提出してください。
- 5 タブレット端末を利用して、言葉や社会的背景について調べ、学習効果を上げてください。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	地理歴史	科目	世界史 A	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第 3 学年	
教科書	現代の世界史 (山川出版社)		副教材等	なし	

1 学習の目標

近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	第Ⅱ部 現代世界と日本	*第一次世界大戦前夜から第二次世界大戦までを概観します。
	5	第7章 二つの世界大戦	(1) ヨーロッパの国際関係を中心に第一次世界大戦が起きた背景や戦争中の社会の変化
	6	①第一次世界大戦とロシア革命	(2) 第一次世界大戦によってもたらされた影響と、大戦後の国際秩序の問題点
第2学期	7	②ヴェルサイユ体制と欧米諸国	(3) 第一次世界大戦後のアジアの民族運動の高揚
	9	③民族主義の新展開	(4) ファシズム台頭の背景と展開
	10	④世界恐慌とファシズム	を中心に理解します。
第3学期	11	⑤第二次世界大戦	*戦後の東西関係、アジア・アフリカ諸民族の独立、2陣営の変化を概観します。
	12	⑤第二次世界大戦	(1) 冷戦構造が形成されていった情勢を把握させ、アジア・アフリカ諸国の台頭や米ソの動揺によって冷戦構造が変化したこと
	1	第8章 冷戦の時代	を中心に理解します。
観点別評価法		1. 知識・技能(70%)…定期考査の基本問題、小テストなど。 2. 思考・判断・表現(10%)…定期考査の応用問題など。 3. 主体的に学習に取り組む態度(20%)…授業態度・意欲・発言、ノートや課題の提出状況など	

3 担当者からのメッセージ

- 1 歴史は過去と現代の対話です。現在、未来を理解し考えるために歴史学習は大切です。
- 2 歴史は因果関係 (原因と結果の関係) より成り立っています。だれが、いつ、どこで、なにを、なぜ、したのか、それがどのような結果、影響をおよぼしたのかを考え、理解するようにしてください。
- 3 授業をうける前に教科書に必ず一度目を通しておきましょう。
- 4 なぜ? どうして? の問題意識をもって主体的に授業をうけましょう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	数 学	科 目	数学 I	単位数	2 単位
学 科	生活創造科		学 年	第 3 学年	
教科書	最新 数学 I (数研出版)		副教材等	パラレルノート数学 I+A (数研出版) 教師自作プリント	

1. 学習の目標

- (1) 進学・就職試験に対応できる数学の能力を養う。
- (2) 割合、食塩水の濃度、図形、速さ・道のり・時間、仕事算の問題を解けるようにする。
- (3) 方程式、不等式、2次関数、三角比と図形などについて学び、実際に適用できる能力を習得する。

2. 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学 習 の ね ら い
第 1 学期	4	・数の計算、式の計算	進学・就職試験に向けた演習を行う。
	5	・展開、因数分解	・数や式の計算、多項式の加法、減法、乗法、展開・因数分解、無理数の計算などを学ぶ。
	6	・方程式、不等式	・方程式、連立方程式、不等式の解法を学ぶ。
	7	・割合、濃度、速さなど	・割合、濃度、速度の問題の解法を学ぶ。
第 2 学期	9	・相似な図形、面積、体積	進学・就職試験に向けた演習を行う。
		・仕事算	・相似な図形の面積比・体積比について学ぶ。
	10	・1次関数、2次関数	・球の表面積や体積を学ぶ。
	11		・仕事算の解法を学ぶ。
	12	・三角比	・1次関数(直線)、2次関数(放物線)について学ぶ。
			・三角比の値、三角比の相互関係を学ぶ。
			・正弦定理、余弦定理、三角形の面積を学ぶ。
第 3 学期	1	・規則的な数の並び	・規則的な数の並びについて、第n項や和の求め方を学ぶ。
	2	・指数法則を利用した計算	・指数法則を利用して、大きな数の計算方法を学ぶ。
	3	・数学のいろいろな問題演習	・数学のいろいろな問題の解き方を学ぶ。
観点別学習状況の評価方法	A (十分満足できる)、B (おおむね満足できる)、C (努力を要する) の3段階で評価する。 1. 知識・技能 (40%)・・・定期考査の基本問題、小テストなどにより評価する。 2. 思考・判断・表現 (40%)・・・定期考査の標準・応用問題、発表などにより評価する。 3. 主体的に学習に取り組む態度 (20%) ・・・授業態度・意欲・発言、ノートや課題の提出状況などにより評価する。		

3 成績の算出方法

1. 各学期の成績は、観点別学習状況の評価をもとに算出する。
2. 学年成績は、各学期の成績をもとに算出する。

4 担当者からのメッセージ

1. 授業には、必ず教科書・ノート・問題集を、必要に応じてタブレット端末を準備すること。
2. 授業中は、理解が深まるよう、集中して臨むこと。
3. 復習として、教科書の類題を自分で解いてみること。
4. ノート・問題集は、定期考査後に提出してもらうので、しっかり記入しておくこと。
5. 必要に応じて、タブレット端末を利用して、学習効果を上げる工夫をすること。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第3学年	
教科書	科学と人間生活新訂版(実教出版)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解します。
- (2) 科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解を深めます。
- (3) 科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養います。
- (4) 科学に対する興味・関心を高めます。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	2 物質の科学 2節 食品と衣料	食品の種類と三大栄養素について学習します。
	5		衣料にはどのような繊維が使われているかを学習します。
	6	3 生命の科学 2節 微生物とその利用	微生物の種類とその発見の歴史を学習します。
第2学期	7		微生物が食品や医療、水の浄化など人間生活に必要なものであり、生態系でも重要な役割をしていることを学習します。
	9	4 光や熱の科学 1節 光の性質とその利用	光の性質について学習します。
	10		光が日常生活の中でどのように利用されているかを学習します。
	11	5 宇宙や地球の科学 2節 身近な自然景観と自然災害	自然景観が地球の大規模なプレートの運動と大気や水の働きによってつくられていることを学習します。
第3学期	12		日本でおきる地震、火山活動、気象の各現象と、それに伴う様々な自然災害について学習します。
	1	6 これからの科学と人間生活	人間が生み出した科学と科学技術の基本と現状を見て、これからどのように進めて行けばよいかを考えます。
	2 3		
観点別評価法		ペーパーテストや小テストの内容、実験・観察への取り組む態度や技能、レポートの作成やグループでの話し合い、発表などを通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を総合的に評価する。	

3 担当者からのメッセージ

- 1 日常の体験と専門用語を関連づけて覚えることが大切です。
- 2 諦めずに努力することが大切です。
- 3 授業で生じた疑問は積極的に質問してください。
- 4 ヒトも自然の一部であることを念頭に置いて学習に取り組んでください。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第3学年	
教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)		副教材等	最新高等保健ノート	

1 学習の目標

- (1) 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解を深める。
- (2) 運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質を育てる。
- (3) 体力の向上を図る。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい	
第1学期	4	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の約束事を確認する。 ・礼儀作法、規範意識、協調性を身につける。 ・集団の一員としての自覚を持つ。 ・体づくり運動をとおして、基礎体力、身体バランスを高める。 ・運動の楽しさを味わう。 ・能力に応じた技能を身につける。 ・チームにおける自分の役割を果たす。 ・審判法を身につけ、自分たちで試合ができるようになる。 ・自分の能力を理解し、それに応じた技、練習ができるようになる。 	
	5	選択 器械運動 柔道 ダンス		
	6	体づくり運動		
	7	選択 ソフトボール ラグビー バレーボール バドミントン		
				体育理論 生涯スポーツ の見方・考え方 ライフスタイル におうじたス ポーツ
第2学期	9	選択 (1学期末種目継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し、みんなで協力してやり遂げる責任感を身につけ、達成感を味わう。 ・礼儀作法を身につける。 ・安全面に留意して練習できるようになる。 ・審判法を身につける。 ・運動の楽しさを味わう。 ・能力に応じた技能を身につける。 ・チームにおける自分の役割を果たす。 ・審判法を身につけ、自分たちで試合ができるようになる。 ・自分の体力、能力に応じて目標を設定し、積極的に取り組む。 	
	10	選択 ラグビー サッカー バスケットボール バレーボール バドミントン		
	11	ソフトテニス (種目は変更の場合あり)		
	12	選択 サッカー バスケットボール ネット型		
				体育理論 日本のスポーツ 振興 スポーツと環 境
第3学期	1	選択 ソフトボー バスケットボール バレーボール バドミントン	(2学期に同じ)	
観点別 評価法			<ul style="list-style-type: none"> ・積極的授業へ参加。 ・容儀面。 ・目標にあった練習と安全・健康管理。 ・授業ノート等の記入と自己評価。 ・運動スキル。 	

3 担当者からのメッセージ

- ・社会で大事な協調性、礼儀 (挨拶)、規範意識を身につけよう。
- ・集団の一員としての自覚を持ち、自己の責任を果たせる人間になろう。
- ・将来の自分のために、しっかり体力をつけよう。
- ・身体活動を通して、運動の楽しさ・爽快感を味わい、生涯にわたってスポーツにかかわろう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	外国語	科目	英語会話	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第 3 学年	
教科書	Hello there! English Conversation (東京書籍)		副教材等	コーパス 1800 3rd Edition (東京書籍)	

1 学習の目標

- (1) 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。
- (2) 英語を通じて、身近な話題について会話することができる。
- (3) 英語を通じて、言語の違いや文化の違いについて理解を深めることができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月		
第1学期	4	Unit 1 Introduction Lesson 1 Nice to Meet You Lesson 2 Hello, Friends!	○自己紹介、友達の紹介ができる ・きき返す、あいさつをする、意味を尋ねる、説明する ・許可を求める・与える、相手について尋ねる・答える、リストアップする
	5	Unit 2 My Interests Lesson 3 My Favorite Music	○好きなこと、興味のあることについて会話ができる
	6	Lesson 4 What Are You Crazy about?	・意見を言う、興味・関心を伝える、誘う・誘いを断る
	7	Unit 3 Food & Health Lesson 5 A Friendly Potluck Dinner	○料理について、作り方の説明ができる ・許可を求める・許可する/許可しない、説明する
	第2学期	9	Lesson 6 Are You All Right? Unit 4 My Beautiful Country Lesson 7 Talking about Our Town
10		Lesson 8 Traditional Culture Unit 5 Future	○自分の住んでいる町について積極的に話すことができる ・(距離・方角、場所の特徴などを) 描写する
11		Lesson 9 Equal Roles	○各国・地域の伝統文化について積極的に話すことができる ・予定を尋ねる・答える、習慣を尋ねる、説明する
12			○自分の価値観をはっきりと表現することができる ・感想・感情を述べる
第3学期		1	Lesson 10 Helping Each Other
	2		
	3		
観点別評価法			【知識・技能】 ・基本的な単語、文法、表現が定着しているか。 【思考・判断・表現】 ・基本的な単語、文法、表現を使って、適切なコミュニケーションができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物等がきちんと提出されているか。 ・コミュニケーションをとる適切な態度等、英語に対する関心をもって授業に臨んでいるか。

3 担当者からのメッセージ

「英語会話」では、今までに学習した基本的な単語や文法を復習しながら、会話や応対等をベースにして実生活で使えるような表現を中心に学習していきます。卒業後、仕事や海外旅行等で役立つ英語表現を身につけることを目指します。また、英会話を通して、異文化理解につながるような学習も行います。さらに発展的に学習をしたい人は、年に3回実施される実用英語技能検定の受検にチャレンジしてみましょう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	農業	科目	課題研究	単位数	3単位
学科	生活創造科		学年	第3学年	
教科書	なし		副教材等	なし	

1 学習の目標

生活産業の各分野に関する課題を発見し、解決策を探求し創造的に解決する力を身につける。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)		学習のねらい
第1学期	4	ライフコース	福祉コース	研究のテーマと実施計画を立て、1年間の流れを見通す。 計画的に実践する力、考える力を養う。
		テーマ決定と実施計画の作成	介護職員初任者研修	
	5	実践		
	6			
第2学期	7	ホームプロジェクト説明 ホームプロジェクト取り組み (夏季休業)		ホームプロジェクトをとおして、個々の課題解決能力を養う。
	9	実践		実習や実験をとおして、課題解決能力を養う。
	10		テーマ決定と実施計画の作成	活動内容を分かりやすくまとめる力を養う。
	11		実践	
	12	まとめ プレゼンテーション資料の作成 課題研究発表会の準備・練習		
第3学期	1	課題研究発表会 発表要旨の作成・提出		プレゼンテーション能力を養う。
観点別評価法	<p>【知識・技能】 作品の提出、介護職員初任者研修のまとめテストにより評価します。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○毎回の記録(レポート)または作品により評価します。 ○発表方法・内容等について評価します。 ○研究発表用の原稿・資料等により評価します。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○遅刻・欠課・授業態度等により評価します。 ○夏休みの課題により評価します。</p>			

3 担当者からのメッセージ

- 年間計画をしっかり立て、有意義な研究ができるようにしましょう。
- 実践においては、毎時間ごとにまとめ・反省をし、次回の実践につなげるようにしましょう。
- 研究発表では、多くの人に自分たちがやってきた内容をわかりやすく伝えるために、発表方法・レポート・資料等を工夫しましょう。

※実験・実習等で使用する材料は自己負担となります。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	農業	科目	生物活用	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第3学年	
教科書	生物活用 (実教出版)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 生物活用に必要な基本的な知識と技術を学びます。 (2) 動物と飼育と活用の特性を学びます。
 (3) 動物を活用して生活の質の向上や健康の改善を図る方法を学びます

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	講義 1 生物活用の意義と役割 (1) 生物活用の意義と役割	・意義や内容、学習や評価の方法を理解する。
	5	(2) 動物と人間生活	・暮らしと動物との関わりや動物の持つ効果、活用場面について学ぶ。
	6	実習	・動物について、その飼育方法や活用方法について学ぶ。
	7	(1) 家畜の飼育管理 (2) 社会動物の飼育管理 (3) 愛玩動物の飼育管理	・日常の飼育管理方法を体験し、観察することで動物の生理生態を学ぶ。
	9	講義 2 動物の飼育と活用 (1) イヌの飼育と活用	・イヌとウマの特性と飼育管理方法などを学習する。
	10	(2) ウマの飼育と活用	・家庭での動物飼育の方法について学ぶ。
	11	実習	・基本的なエサの与え方について学ぶ。
第2学期	12	(1.) 動物の日常管理 ・散歩、被毛の手入れ (2) イヌのしつけ	・主な病気の対応について学ぶ。 ・シャンプーやトリミングを体験し、動物の日常管理を知る。
	1	講義 (3) ネコの飼育と活用	・ネコの特性と飼育管理方法などを学習する。
	2		・基本的なエサの与え方について学ぶ。
第3学期	3		・主な病気の対応について学ぶ。
観点別 評価法		【知識・技能】 定期考査(60点分)で評価します。 【思考・判断・表現】 レポート・発表・感想文(10点分)…実習レポートや発表、感想文の内容などにより評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】 平常点(30点分)…授業や実習に取り組む態度、ノートや課題の提出状況、考査のやり直しなどにより評価します。	

3 担当者からのメッセージ

この科目では、家庭生活などにおける動物との関りや飼育方法などを学び、さらにはそれを生活の潤いや福祉などに利用することについて学びます。実習もありますので、実習服の準備をしておいてください。生物活用を学ぶことで、農業高校の生活創造科としてプラスアルファの部分をも身につけてください。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	家庭	科目	専攻 子ども文化	単位数	3単位
学科	生活創造科 (ライフデザインコース)		学年	第3学年	
教科書	子ども文化 (教育図書出版)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 子どもと遊び、児童文化財などに関する知識と技術を習得する。
- (2) 児童文化財の製作等を通じて、子ども文化の充実を図る能力と態度を身につける。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	第1章 子ども文化 1 子ども文化とは	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども文化の歴史を理解する。 ・子どもの遊びの種類と発達との関わりを理解する。 ・遊びと遊具との関わりについて理解する。 ・子どもの表現活動の意義を理解する。 ・子どもの表現活動と児童文化財の重要性を理解する。 ・農業祭おはなし会のためのプログラム(紙芝居、ペープサート、絵本等)を企画・立案。
	5	第2章 子どもと遊び	
	6	1 遊びと発達 2 遊びと遊具	
	7	第4章 子どもと文学 <児童文化財製作> 紙芝居やパネルシアターの製作	
第2学期	9	<児童文化財製作> 紙芝居、パネルシアター等の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の発達に適した遊具を製作する。 ・農業祭おはなし会のためのプログラム(紙芝居、ペープサート、絵本等)の練習。
	10	第3章 子どもの表現活動	
	11	農業祭おはなし会実施	
	12		
第3学期	1	第5章 現代の子どもの生活と文化 1 年中行事	<ul style="list-style-type: none"> ・年中行事と通過儀礼について学び、現代でも受け継がれている行事を理解する。 ・日本と世界の遊びを比較し、伝統的な遊びに親しむ。
	2	2 通過儀礼 <伝承遊び>	
	3		
観点別 評価法		【知識・技能】 定期考査により評価します。 【思考・判断・表現】 授業時のワークプリント、課題の提出状況により評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】 各実習への取り組みや活動状況、作品製作等を通して評価します。	

3 担当者からのメッセージ

- 1 何事にも真剣に取り組みましょう。
- 2 授業を大切に、提出物や作品などその都度、時間内に終わらせる習慣をつけましょう。
- 3 実習や作品製作等は意欲的に取り組みましょう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	家庭	科目	専攻 ファッション造形	単位数	3単位
学科	生活創造科 (ライフデザインコース)		学年	第3学年	
教科書	ファッション造形 (実教出版)		副教材等	家庭科問題集被服編 (全国高等学校家庭科教育振興会)	

1 学習の目標

- (1) 被服製作に関する総合的な知識と技術を習得します。
- (2) 家庭科技術検定和服1級の取得を目指します。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	1 技術検定被服製作1級 (和服) の練習 ～ひとえ長着製作～	○構成・縫製技術を学び、資格取得に向けて準備をする。 ・ひとえ長着の構成 ・裁断、しるしつけ ・各種くけ方
	5		
	6		
	7	2 技術検定被服製作1級 (和服) の検定準備 ～ひとえ長着製作～	
8			
第2学期	9	3 自由課題製作	○これまでの学習内容から得た技術・知識をもとに作品製作を行う。
	10		
	11		
	12		
第3学期	1	3 自由課題製作	
	2		
	3		
観点別評価法	【知識・技能】 中間・期末考査によって、知識を評価します。作品で技能を評価します。 【思考・判断・表現】 製作の理解度、布地の選択や課題のデザインなどを評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品製作の進捗、提出の状況を評価します。		

3 担当者からのメッセージ

- 1 手順の説明をよく聞くこと。分からない時は質問をしましょう。
- 2 針やはさみ、ミシンやアイロンを使用します。安全に作業するために常に身のまわりの整理整頓に心がけましょう。
- 3 用具・材料等の忘れ物をすると、授業が円滑に行えません。忘れ物をしないようにしましょう。
- 4 材料 (布・糸など) は、指示に従って各自で用意してください。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	家庭	科目	専攻 フードデザイン	単位数	4単位
学科	生活創造科 (ライフデザインコース)		学年	第3学年	
教科書	フードデザイン cooking&arrangement (教育図書)		副教材等	家庭科問題集食物編 (全国高等学校家庭科教育振興会)	

1 学習の目標

- (1) 食品の栄養・調理について実践的かつ総合的に学習します。
- (2) 調理実習とその裏付けとなる理論と技術を学び、食物調理1級検定取得を目指します。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	1 行事食の献立作成 (食物1級検定)	○行事食や供応食の献立について理解し、課題に応じた献立作成ができる。
	5	2 食物1級検定準備・練習 ・調理技術	○食物1級の指定調理について理解し、技術を生かした実技調理の練習をする。
	6	・検定問題演習	○検定に必要な知識について問題集を利用して学習する。
第2学期	7	3 食物1級検定の実施	○食物1級検定の内容を理解し、供応食・行試食の調理ができるようになる。
	9	4 食文化をみつめる	○行事食や郷土料理について学ぶ。
	10	5 食品の衛生と安全	○衛生管理の重要性を学び、食中毒の種類や安全な調理方法について理解する。
第3学期	11	6 大量調理実習	○農業祭食物バザーの大量調理実習を通して、調理技術の総合力を養う。 ○人に食べていただく調理を意識する。
	12	7 様式別の献立と調理・食卓作法 ①日本料理 ②西洋料理 ③中国料理 ④テーブルコーディネート	○各料理の歴史的背景や地理的な特徴を理解する。 ○各料理のマナーと基本的なサービスの方法を学ぶ。 ○基本的なテーブルセッティングを学ぶ。 ○食事のテーマにふさわしい食卓の整え方を総合的に学習する。
第3学期	1	8 テーブルマナー	○テーブルマナー講習会を受講することで、献立作成や盛り付け、テーブルコーディネートに活用する。
		観点別評価法	【知識・技能】 中間・期末考査、実技テストによって、授業に関する知識を評価します。 【思考・判断・表現】 実習での理解度、レポートやプリントの記入状況、発表などの授業態度を評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】 教科書や実習道具の忘れ、遅刻・欠課等で授業に取り組む意欲を評価します。

3 担当者からのメッセージ

- 1 包丁などを利用します。安全に作業するために、落ち着いて実習に取り組みましょう。
- 2 実習当番など責任を持って行い、常に身のまわりの整理整頓を心がけましょう。
- 3 レポートや課題はしっかり提出しましょう。

令和5年度 年間学習計画（シラバス）

教 科	農 業	科 目	専攻 草花	単位数	2 単位
学 科	生活創造科(ライフデザインコース)		学 年	第 3 学年	
教 科 書	草花(実教)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 草花栽培と経営に必要な知識と技術を習得する。
- (2) 草花生産の役割と利用方法を知る。
- (3) 草花の繁殖と育苗技術を習得する。
- (4) 切り花の特色と生産技術・栽培について理解する。
- (5) 切り花のアレンジ方法について理解する。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学 習 の 内 容 (項目)	学 習 の ね ら い
第1学期	4	1 草花の特徴と栽培技術 (1) 品種改良と繁殖	<ul style="list-style-type: none"> ・品種の重要性と品種改良の目的を理解する。 ・品種改良と繁殖の様々な方法を知る。
	5	(2) 草花の生育と栽培技術	<ul style="list-style-type: none"> ・草花の生育環境と適切な栽培技術を理解する。 ・草花の品質と草姿を知り、その調整法を学ぶ。
	6		
	7		<ul style="list-style-type: none"> ・草花作りの基本と栽培しているシクラメンについて知る。
第2学期	9	1 草花の特徴と栽培技術 (3) 生産施設と栽培環境の調節	<ul style="list-style-type: none"> ・温室やハウスの施設・設備と資材の特徴を理解する。 ・施設・設備を使った栽培管理技術を習得する。
	10	2 切り花生産	<ul style="list-style-type: none"> ・切り花生産の経営と栽培の特徴を理解する。
	11	(1) 切り花生産の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・切り花の園芸的分類や栽培の特徴について理解する。 ・切り花の品質評価の様子を学ぶ。
	12	(2) 切り花の品質保持 (3) 代表的な球根の切り花	<ul style="list-style-type: none"> ・球根切り花の種類と特性を理解する。 ・球根類の栽培に必要な基礎的技術を習得する。
第3学期	1	(3) 代表的な球根の切り花	<ul style="list-style-type: none"> ・草花作りの基本と栽培しているポインセチアについて知る。 ・温度処理による開花調節技術について習得する。 ・草花作りの基本と栽培しているシネラリアについて知る。
観点別 評価法		<p>下記の内容について総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む服装、授業開始・終了の挨拶 ・授業の準備(忘れ物等)や授業態度 ・発問に対する答え、板書内容のノート記入、ノート・プリントの整理 ・予習・復習の状況、課題・ノート・レポートの提出状況 ・小テスト・定期考査による理解度(「学習のねらい」にそって、その内容の理解が深まったか) 	

3 担当者からのメッセージ

- 1 草花は、暮らしを豊かにし、心を和ませる素材として常に重要な役割を果たしています。葉や花を觀賞するもので、食料生産とは異なることを理解しましょう。
- 2 実際に草花を栽培できるように、生理・生態について学びましょう。草花全般に共通する性質と草花ごとに異なる性質をしっかりと理解しましょう。
- 3 よい草花を育てるポイントは、「丈夫な苗をつくること」と「草花をよい環境で育てる」ことです。育苗方法と草花栽培に適した環境について学びましょう。
- 4 草花を実際に栽培し、その特性を理解して、様々な生活の場面で活用できることを理解しましょう。
- 5 草花の加工、販売、利用技術(アレンジメントなど)の基礎知識を習得し、自分で様々な場所に装飾できる技術を身に付けましょう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	農業	科目	専攻 草花	単位数	2単位
学科	生活創造科(福祉・看護コース)		学年	第3学年	
教科書	草花(実教)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 草花栽培と経営に必要な知識と技術を習得する。
- (2) 草花生産の役割と利用方法を知る。
- (3) 草花の繁殖と育苗技術を習得する。
- (4) 鉢ものの特色と生産技術・栽培について理解する。
- (5) 花壇用草花の特色を知る。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	1 草花の特徴と栽培技術 (1) 品種改良と繁殖	<ul style="list-style-type: none"> ・品種の重要性と品種改良の目的を理解する。 ・品種改良と繁殖の様々な方法を知る。 ・草花の生育環境と適切な栽培技術を理解する。 ・草花の品質と草姿を知り、その調整法を学ぶ。
	5	(2) 草花の生育と栽培技術	
	6	1 草花の特徴と栽培技術	<ul style="list-style-type: none"> ・温室やハウスの施設・設備と資材の特徴を理解する。 ・施設・設備を使った栽培管理技術を習得する。 ・草花作りの基本と栽培しているシクラメンについて知る。
	7	(3) 生産施設と栽培環境の調節	
第2学期	9	2 鉢もの生産 (1) 鉢もの生産の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢ものの経営的特色・栽培管理の特色を理解する。 ・鉢もの生産に必要な資材と鉢ものの用途について理解する。 ・鉢ものの仕立て方と商品価値を高める技術を理解する。
	10	(2) 鉢ものの生産資材と商品化技術	
	11	(3) 代表的な鉢花	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢花の適切な栽培計画が立案でき、開花調節ができる。 ・わい化剤を利用し鉢花の品質の向上をはかることができる。 ・鉢花の仕立て方や商品化の工夫ができる。 ・花壇用草花生産の特色を理解する。 ・草花作りの基本と栽培しているシクラメンについて知る。
	12	3 花壇用草花生産 (1) 花壇用草花生産の特色	
第3学期	1	(2) 花壇用草花の栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇用草花生産の動向と今後の課題を理解する。 ・草花作りの基本と栽培しているシネラリアについて知る。
観点別 評価法		<p>下記の内容について総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む服装、授業開始・終了の挨拶 ・授業の準備(忘れ物等)や授業態度 ・発問に対する答え、板書内容のノート記入、ノート・プリントの整理 ・予習・復習の状況、課題・ノート・レポートの提出状況 ・小テスト・定期考査による理解度 (「学習のねらい」にそって、その内容の理解が深まったか) 	

3 担当者からのメッセージ

- 1 草花は、暮らしを豊かにし、心を和ませる素材として常に重要な役割を果たしています。葉や花を觀賞するもので、食料生産とは異なることを理解しましょう。
- 2 実際に草花を栽培できるように、生理・生態について学びましょう。草花全般に共通する性質と草花ごとに異なる性質をしっかりと理解しましょう。
- 3 よい草花を育てるポイントは、「丈夫な苗をつくること」と「草花をよい環境で育てる」ことです。育苗方法と草花栽培に適した環境について学びましょう。
- 4 草花を実際に栽培し、その特性を理解して、様々な生活の場面で活用できることを理解しましょう。
- 5 草花の加工、販売、利用効果(園芸セラピーなど)の基礎知識を習得し、自分で様々な場所に装飾できる技術を身に付けましょう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教 科	家庭	科 目	専攻 フードデザイン	単位数	1単位
学 科	生活創造科 (福祉・看護コース)		学 年	第 3 学年	
教 科 書	フードデザイン cooking&arrangement (教育図書)		副教材等	な し	

1 学習の目標

- (1) ライフステージごとに関係する栄養の特徴と調理法について理解し、調理実習を通して技術を身につける。
- (2) 料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなど相互に関連づけて理解し、それに関連する技術を身につける。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学 習 の 内 容 (項目)	学 習 の ね ら い
第1学期	4	1 ライフステージと栄養 1 乳幼児期から高齢期 ・ライフステージごとの栄養の特徴、 食生活上の留意事項、調理法の工夫など	・乳幼児期から高齢期までのライフステージごとの栄養の特徴、食生活上の留意事項について理解する。
	5		
	6	2 様式別の献立と調理・食卓作法 ①日本料理 ②西洋料理	・日本料理、西洋料理の料理の特徴や献立構成を理解する。 ・様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーについて理解し、実践できるようになる。
第2学期	9	2 様式別の献立と調理・食卓作法 ③中国料理	・中国料理の料理の特徴や献立構成を理解する。 ・様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーについて理解し、実践できるようにする。
	10		
	11	3 テーブルマナー ・テーブルマナーの実践	・外部でのテーブルマナー研修を通して身につけることができる。。
第3学期	12	外部講師によるテーブルマナー研修	
第3学期	1	4 食文化を見つめる ・食と生活の関わり <調理実習>	・行事食、郷土料理を知り、調理実習を通して必要な知識と技術を身につけることができる。
観点別 評価法		【知識・技能】 中間・期末考査によって、知識を評価します。調理実習で技能を評価します。 【思考・判断・表現】 調理の理解度、課題の発表などを評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、意欲、プリントなどの提出の状況を評価します。	

3 担当者からのメッセージ

- 1 包丁やコンロなどを利用します。安全に作業するために、落ち着いて実習に取り組みましょう。
- 2 実習着・マスクは絶対に忘れないこと。また爪は短くし、手指消毒を心がけ、衛生に留意しましょう。
- 3 提出物は必ず出しましょう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	福祉	科目	専攻 介護総合演習	単位数	2単位
学科	生活創造科 (福祉・看護コース)		学年	第3学年	
教科書	介護職員初任者研修課程テキスト (日本医療企画)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 高齢者の介護に関する知識と技術を習得し、家族や高齢者の健康管理とともに、家庭看護や高齢者介護の充実を図る能力を養います。
- (2) 介護職員初任者研修の資格取得に必要な知識と技術を習得します。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	介護職員初任者研修	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修の資格取得のために必要な知識と技術を習得する。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・基本介護技術 	
	6	*デイサービス実習	
	7	<ul style="list-style-type: none"> *特別養護老人ホーム実習 *介護実習 	
第2学期	9	介護職員初任者研修のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修で学んだ知識と技術をパワーポイントでまとめることで整理し、深く理解する。 ・認知症を取り巻く環境や、基礎的な知識について学ぶ。 ・様々な障害の基礎的な知識や障害の概念について学ぶ。
	10	認知症の理解	
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を取り巻く環境 ・認知症の基礎的理解 	
	12	障害の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・障害の基礎的理解 ・生活機能障害の理解 	
第3学期	1	復習	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士や看護師の国家試験問題を解くことで、3年間学んできたことを復習する。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士や看護師の国家試験問題 	
	3		
観点別評価法		<p>【知識・技能】 中間・期末考査によって、授業に関する知識理解を評価します。</p> <p>【思考・判断・表現】 授業で配布するプリントをファイルに整理し、その記入状況、発表などで授業態度を評価します。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教科書などの忘れ、遅刻・欠課等で授業に取り組む意欲を評価します。</p>	

3 担当者からのメッセージ

- 1 高齢者福祉について理解を深めましょう。
- 2 介護実習では、安全面に十分に配慮し、真剣に実習に取り組みましょう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	国語	科目	国語総合	単位数	2単位
学科	生活創造科 (福祉・看護コース)		学年	第3学年	
教科書	新編 国語総合 (数研出版)		副教材等	トリプレック文字力王 (尚文出版) 最新国語便覧 (浜島書店)	

1 学習の目標

- (1) 国語を理解する能力を育成するとともに、適切に表現する力を高めます。
- (2) 思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨いて、言語文化に対する関心を深めます。
- (3) 国語を尊重し、伝え合う力の向上を図る態度を育てます。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	1 評論「語感トレーニング」	・全体の文章構成や対比構造を読み取り論旨を正確に捉え、評論文の基本構成を理解する。
	5	2 小説「ナイン」	・小説の登場人物の心情を想像し、小説を読む楽しさを知る。 読んだ感想をもとに、話し合う力を養う。また、言葉に対する感受性と豊かな表現力を養う。
	6 7	3 問題演習	・漢字・語彙力を高める。
第2学期	9	4 問題演習	・漢字・語彙力を高める。
	10	5 表現 意見文	・構成を工夫し、具体的で説得力のある意見文を書く。 引用や推敲の仕方について学ぶ。
	11	6 評論「『わらしべ長者』の経済学」	・筆者の意見を正確に捉える力を養うとともに、自分の意見をまとめて述べる力を養う。
	7 12	歌物語『伊勢物語』筒井筒	・古典の代表的物語を読み、人間の普遍性を知る。 ・和歌に注意しながら、登場人物の心情を読み取る。
第3学期	1	8 故事「漁夫の利」「虎の威を借る狐」	・訓読の決まりに基づいて文章を読み、正しく読み取る。 ・古来伝わる故事の意味を知る。
	2	9 唐詩のしらべ	・唐詩 (近体詩) のきまりについて理解し、読み味わう。
観点別 評価法			・読解力・思考力・言葉の知識が身についているかを定期考査により評価します。 ・教科学習に対して真摯に取り組み、国語力の向上に努める態度があるかを、提出物の状況から評価します。 ・当該学年にふさわしい表現能力・技術が身についているかを、短歌及び意見文課題から評価します。

3 担当者からのメッセージ

- 1 教材、タブレットを準備し、漢字や語句、関連するキーワードを調べながら、積極的に取り組むこと。
- 2 課題など提出物を期限までに提出するなど、基本的なことは確実にすること。
- 3 一つの疑問に対してじっくり考え、自分なりに答えを出す習慣を身につけること。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	数学	科目	専攻 数学A	単位数	2単位
学科	生活創造科 (福祉・看護コース)		学年	第3学年	
教科書	最新 数学I (数研出版) 最新 数学A (数研出版)	副教材等	パラレルノート数学I+A 教師作成のプリント		

1 学習の目標

- (1) 看護学校受験対策として、各種問題を解ける力を養う。
- (2) 2次関数の各種問題を解ける力を養う。
- (3) 場合の数と確率についての各種問題を解ける力を養う。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容(項目)	学習のねらい
第1学期	4	(数学I)	・2次関数の頂点の求め方を学ぶ。
	5	・2次関数の基本問題	・2次関数の最大値・最小値の求め方を学ぶ。
	6	・2次関数の応用問題	・2次方程式の解き方を学ぶ。
	7	・看護学校の過去問演習	・2次方程式と判別式を学ぶ。 ・2次不等式の解き方を学ぶ。
第2学期	9	・三角比の基本問題	・三角比の相互関係を学ぶ。
	10	・三角比の応用問題	・正弦定理・余弦定理とその利用について学ぶ。 ・三角比を用いた三角形の面積の公式について学ぶ。
	11	(数学A) ・順列の問題演習	・三角比を使った方程式・不等式の解法を学ぶ。 ・三角比の応用問題の解法を学ぶ。
	12	・組合わせの問題演習	・順列を用いた問題の解法を学ぶ。 ・組合わせを用いた問題の解法を学ぶ。
第3学期	1	・確率の問題演習	・いろいろな確率の問題の解法を学ぶ。
観点別 評価法	A (十分満足できる)、B (おおむね満足できる)、C (努力を要する) の3段階で評価する。 1. 知識・技能 (40%) ……定期考査の基本問題、小テストなどにより評価する。 2. 思考・判断・表現 (40%) ……定期考査の標準・応用問題、発表などにより評価する。 3. 主体的に学習に取り組む態度 (20%) ……授業態度・意欲・発言、ノートや課題の提出状況などにより評価する。		

3 成績の算出方法

1. 各学期の成績は、観点別学習状況の評価をもとに算出する。
2. 学年成績は、各学期の成績をもとに算出する。

4 担当者からのメッセージ

1. 授業には、必ず教科書・ノート・問題集を、必要に応じてタブレット端末を準備すること。
2. 授業中は、理解が深まるよう、集中して臨むこと。
3. 復習として、教科書の類題を自分で解いてみること。
4. ノート・問題集は、定期考査後に提出してもらうので、しっかり記入しておくこと。
5. 必要に応じて、タブレット端末を利用して、学習効果を上げる工夫をすること。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	農業	科目	選択 農業情報処理	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第3学年	
教科書	農業情報処理 (実教出版)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。
- (2) 情報処理に関する知識や技術を習得する。
- (3) 農業の各分野で情報及び情報手段を活用する能力と態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	1 プレゼンテーションソフトの利用	○プレゼンテーションソフト「パワーポイント」を使って基本的な操作や特性を理解する。
	5	・基本操作	
	6	・ソフトの活用	
第2学期	9	2 表計算ソフトの応用	○表計算ソフトを用いてグラフの作成・データベースについて理解する。
	10	・グラフ作成	
	11	・データベース	
第3学期	11	3 データベースソフト	○データベースソフトの基本について理解する。
	12		
第3学期	1	3 データベースソフト	○データベースソフトの基本について理解する。
	2		
	3		
観点別評価法		○中間と期末の考査や実技テスト等によって主に情報処理についての知識・理解を評価します。 ○授業中に行う情報処理検定問題の演習結果を評価します。	

3 担当者からのメッセージ

- 1 「農業情報処理」は、これからの情報化社会において必要不可欠な教科です。前向きな態度で臨み、積極的に課題に挑戦してください。
- 2 「農業情報処理」の評価や成果は皆さんの財産になります。課題への取り組みは常に積極的に行うこと、さらに自己評価を行いながら学習を進めていってください。
- 3 教科書の知識のみに偏らず、実技を通じて問題の発見や解決能力、情報活用能力を高め、実社会で役立つ実践力を身につけることが最も大切です。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教 科	農業	科 目	選択 アニマルコミュニケーション	単位数	2単位
学 科	生活創造科		学 年	第 3 学 年	
教 科 書	アニマルコミュニケーション(島原農業)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 愛玩動物の活用に必要な知識と技術を習得する。
- (2) 人と動物との関わりについて理解する。
- (3) 動物を理解しセラピーに活用する。

2 学習計画及び評価方法

学 期	月	学 習 の 内 容 (項目)	学 習 の ね ら い
第 1 学 期	4	1章 動物とヒトとの関わり 1 狩猟とヒト・家畜化とペット 2 動物の癒しの効果	・動物の中でも、人間の生活に深く関わりがある家畜の基礎を理解する。
	5	第2章 伴侶動物の品種と特徴 1 イヌ ネコ ウサギ ハムスター品種と飼育	・伴侶動物は人と関わり合いのある動物で飼育管理を通して理解を深める。
	6	5 ウマの品種と飼育 第3章 動物の感覚	・動物を理解する上で生理生体を理解することが重要である。
	7	1 五感の発達と機能 2 聴覚・嗅覚・視覚・味覚・触覚 3 動物の表情 情報伝達	
第 2 学 期	9	第4章 アニマルセラピーの実践 1 アニマルセラピーの効果	・現代では様々なセラピーが存在するが、他のセラピーと動物を活用したものの違いを学習する。
	10	2 子供・高齢者・障害者に対するアニマルアクティビティ	
	11	3 ペットロスの症状と対応	
第 3 学 期	12	第6章 動物の衛生管理 1 動物の健康管理・病気 2 精神管理・衛生管理 3 動物の福祉	・動物を飼育する上で病気にさせない予防が大切となる。そのための知識を学ぶことが重要であることを学習する。
	1	第7章 動物園の活用 1 動物園の歴史 2 動物園の機能と役割 3 子どもと動物園 4 動物の展示法 <実習・演習> 1 イヌのハンドリング 2 イヌのグルーミング 3 小動物の取扱	・展示動物としての動物園のなりたち意義を学習する。
観点別 評価法			<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業・実習等から関心・意欲・技能・態度を評価する。 ○ 季節ごとの管理の中から動物に対する優しさ・興味・関心を養う。 ○ 長期休業中の実習の中で動物の管理について学ぶ。

3 担当者からのメッセージ

アニマルコミュニケーションは動物について広く学習し、動物(品種ごと)の生理・生態を理解しうえて、を飼育するための方法について学習します。動物が苦手だという人も、動物を用いることによって「喜びを感じる人がいる」ということを頭に置いて、授業に取り組んでほしい。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	農業	科目	選択 園芸デザイン	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第 3 学年	
教科書	基本のセオリーがわかる花のデザイン (誠文堂新光社)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 園芸デザインの視点から植物の植生や草姿を捉え、美しい環境を創造する感性を発見するとともに、造形に関する基礎的な知識を身につける。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	1 色彩	<ul style="list-style-type: none"> 色の三要素 配色 色の感情効果
	5	2 造形の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 形を成り立たせる要素 構成美の要素
	6 7	3 フラワーデザイン	<ul style="list-style-type: none"> フラワーデザインの構成学 フラワーデザインの構成原理
第2学期	9	4 造形の要素と秩序	造形要素 <ul style="list-style-type: none"> 形体 形態 キャラクタ テクスチャ 色彩 造形の秩序 <ul style="list-style-type: none"> ユニティ コンポジション レイアウト モーメント プロポーション
	10 11	5 実習：フラワーアレンジメントの作成・展示	
	12		
第3学期	1	6 筆記試験演習問題	NFD3級筆記試験演習問題の解答・解説
	2		
	3		
観点別評価法		【知識・技能】 中間・期末考査、実習時の技能など、授業に関する知識・技能を評価します。 【思考・判断・表現】 実習での理解度、レポートやプリントの記入状況、発表などの授業態度を評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】 教科書や実習服等の忘れ、遅刻・欠課等で授業に取り組む意欲を評価します。	

3 担当者からのメッセージ

- 1 草花の栽培を通して園芸デザインの意識を持ち、課題を見つけ積極的に取り組みましょう。
- 2 安全に実験・実習をするために、常に身のまわりの道具類の整理整頓を心がけましょう。
- 2 実習時の記録・レポートや課題はしっかり提出しましょう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	家庭	科目	選択 リビングデザイン	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第3学年	
教科書	リビングデザイン (実教出版)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 住生活と環境に関する知識を習得します。
- (2) 図面をよむ力、かく技術を養います。
- (3) 福祉住環境に関する知識を習得します。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	第1章 住生活と住居の変遷	○自然の環境と社会の環境を理解するとともに、健康的で快適な室内環境について考察する。
	5	第2章 住生活と環境	
	6 7	第3章 住居の選択と管理	○住居を選択する力を養い、耐用年数や老朽化していくことを理解し、点検や修理など住居の維持管理について考察する。
第2学期	9	第4章 住居の設計	○建築物は企画・設計・建設のプロセスを経て完成するため、企画・簡単な設計ができる力を身につける。 (図面をよむ力・図面をかく力)
	10	第5章 インテリア	○快適な室内のためにインテリアデザインとインテリアコーディネートについて考察する。
	11	第6章 住生活の向上	○少子化・高齢化社会を住生活の現状を理解する。福祉住環境コーディネーターの基礎について学習する。
	12		
第3学期	1		○安心・安全な住まい、健康的な住まいについて考察する。
	2		
	3		
観点別評価法	【知識・技能】 中間・期末考査によって、知識を評価します。図面描画で技能を評価します。 【思考・判断・表現】 理解度、描画の表現力などを評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に取り組む姿勢、提出物の状況を評価します。		

3 担当者からのメッセージ

- 1 長い時間を過ごす住まいについて、しっかり学習しましょう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	家庭	科目	選択 ファッションデザイン	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第3学年	
教科書	ファッションデザイン (実教出版)		副教材等	なし	

1 学習の目標

- (1) 被服製作の基礎、構成方法、被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得します。
- (2) 被服を創造的に製作する能力と態度を育てます。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4 5 6 7	1 技術検定被服製作1級 (洋服) の練習 (兼準備)	○構成・縫製技術を学び、資格取得に向けて準備をする。 ・そでの作り方 ・ポケットの作り方、つけ方 ・中とじ ・そでつけと始末の方法
	8	2 技術検定被服製作1級 (洋服) の検定 ～総裏ジャケット製作～	
第2学期	9	3 スカートまたはスラックス製作	○ジャケットと合わせてスーツになるよう、スカートまたはスラックスを製作する。
	10		○特に以下の縫製技術を習得する。 ・製図、ダーツの作り方、ファスナーつけ
	11	4 ファッションショー、L科展 (農業祭)	○製作した作品を着用し、自己表現をする。
	12	5 自由課題製作 (手芸)	
第3学期	1	5 自由課題製作 (手芸)	○装飾のひとつ、手芸について理解する。
	2		
	3		
観点別 評価法	【知識・技能】 中間・期末考査によって、知識を評価します。作品で技能を評価します。 【思考・判断・表現】 製作の理解度、布地の選択や課題のデザインなどを評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品製作の進捗、提出の状況を評価します。		

3 担当者からのメッセージ

- 1 手順の説明をよく聞くこと。分からない時は質問をしましょう。
- 2 針やはさみ、ミシンやアイロンを使用します。安全に作業するために常に身のまわりの整理整頓に心がけましょう。
- 3 用具・材料等の忘れ物をすると、授業が円滑に行えません。忘れ物をしないようにしましょう。
- 4 材料 (布・糸など) は、指示に従って各自で用意してください。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	芸術	科目	選択 保育音楽	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第3学年	
教科書	こどものうた200 (チャイルド本社)		副教材等	なし	

1 学習の目標
保育課程進学に必要な技術および学典を修得する。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	・基礎的な音楽理論	・基礎的な音楽理論の理解をする。
	5		
	6	・実技 ピアノ演奏	・ピアノ初級レベルの習得をする。
	7	・実技 歌唱	・正しい音程を習得する
第2学期	9	・基礎的な音楽理論	・音楽理論の理解をする。
	10		
	11	・実技 ピアノ演奏	・ピアノ中級レベルの習得する。
	12	・実技 弾き歌い	・弾き歌い初級レベルを習得する。
第3学期	1	・基礎的な音楽理論	・音楽理論のまとめ
	2	・実技 ピアノ演奏	・ピアノ上級レベルの習得をする。
	3	・実技 弾き歌い	・弾き歌い上級レベルを習得する。
観点別 評価法	<input type="checkbox"/> 楽譜を理解し、演奏できるか。 <input type="checkbox"/> 楽譜を理解し、表現できるか。 <input type="checkbox"/> 正しい指使いで演奏できるか。		<input type="checkbox"/> 正しい音程で音階を歌えるか。 <input type="checkbox"/> 正しいリズム、音程で曲を歌えるか。 <input type="checkbox"/> 課題の弾き歌いを演奏できるか。

3 担当者からのメッセージ

保育課程に必要な技術力および学典を習得できるように頑張りましょう。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	国語	科目	選択 国語研究	単位数	1単位
学科	生活創造科		学年	第3学年	
教科書	最新国語便覧 (浜島書店)		副教材等	国語必携ライトバージョン外演習 (尚文出版)	

1 学習の目標

- (1) 古典の和歌を中心に、同時代の他ジャンルの作品も含めて、日本文学史を体系的に学びます。
- (2) 言語感覚を磨き、歌の意味を深く理解します。また、技巧も学びます。
- (3) 古典に興味を持ち、親しむ態度を養います。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	1 『万葉集』 第一期	・和歌の音読に慣れる。
	5	第二期	・歌集の特色を理解する。
		第三期	・歌の意味を深く理解する。
		第四期	・的確な表現で和歌の鑑賞文を書く。
	6	東歌・防人歌	・歌人の人間像を調べ、発表する。
	7	2 上代(奈良時代)の文学	・上代の他ジャンル作品を知る。
	第2学期	9	3 『古今和歌集』 第一期
10		第二期	・歌集の特色を理解する。
		第三期	・歌の意味を深く理解する。
		4 『新古今和歌集』 西行	・的確な表現で和歌の鑑賞文を書く。
11		藤原定家 寂連	・歌人の人間像を調べ、発表する。
12	5 中古～中世(平安～鎌倉時代)の文学	・中古～中世の他ジャンルの作品を知る。	
第3学期	1	6 近代短歌	・伝統的和歌と、正岡子規以降の近代短歌を比較し、その違いを味わう。
	2	7 近世～現代(江戸～平成時代)の文学	・近世～現代の他ジャンルの作品を知る。
	3		
観点別 評価法			<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末や国語便覧を用いて、意欲的に指示された課題に取り組めるかを評価します。 ・主体的に学び、意欲的な態度で授業に臨み、活発な発表が出来るかを評価します。 ・上記の点を踏まえ、定期考査・提出物・授業態度・出席状況などから総合的に評価します。

3 担当者からのメッセージ

- 1 授業には、必ず国語便覧を用意し、必要に応じてタブレット端末を準備してください。
- 2 声を出してすらすらと音読できるようにしてください。
- 3 分からない漢字や語句は、便覧・タブレットを用いて自分で調べる習慣をつけてください。
- 4 課題は、指示された方法で取り組み、期限を守って提出してください。
- 5 タブレット端末を利用して、言葉や社会的背景について調べ、学習効果を上げてください。

令和5年度 年間学習計画 (シラバス)

教科	数学	科目	選択 数学 I	単位数	1 単位
学科	生活創造科		学年	第 3 学 年	
教科書	最新 数学 I (数研出版) 最新 数学 A (数研出版)	副教材等	パラレルノート数学 I + A (数研出版) 教師作成プリント		

1 学習の目標

1. これまでに学習した数学の理解を深める。
2. 看護学校等の受験対策のために、過去問を学習する。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容 (項目)	学習のねらい
第1学期	4	数学 I ・ 2 次関数の復習 ・ 図形と計量の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 次関数の最大値・最小値を復習する。 ・ 三角比の基本, 正弦定理, 余弦定理, 面積の公式などを復習する。 ・ 場合の数の基本, 樹形図, 順列, 組合せを復習する。 ・ 確率を復習する。
	5		
	6	数学 A ・ 場合の数と確率	
	7		
第2学期	9	過去問演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復習問題を演習する。 ・ 看護学校や医療系専門学校の過去問を演習する。 ・ 授業では扱っていない問題もあるので, その解き方を学ぶ。
	10		
	11		
	12		
第3学期	1	復習問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで学んだ数学の復習問題を演習する。
観点別 評価法	A (十分満足できる)、B (おおむね満足できる)、C (努力を要する) の3段階で評価する。 1. 知識・技能 (40%) …… 定期考査の基本問題、小テストなどにより評価する。 2. 思考・判断・表現 (40%) …… 定期考査の標準・応用問題、発表などにより評価する。 3. 主体的に学習に取り組む態度 (20%) …… 授業態度・意欲・発言、ノートや課題の提出状況などにより評価する。		

3 成績の算出方法

1. 各学期の成績は、観点別学習状況の評価をもとに算出する。
2. 学年成績は、各学期の成績をもとに算出する。

4 担当者からのメッセージ

1. 授業には、必ず教科書・ノート・問題集を、必要に応じてタブレット端末を準備すること。
2. 授業中は、理解が深まるよう、集中して臨むこと。
3. 復習として、教科書の類題を自分で解いてみること。
4. ノート・問題集は、定期考査後に提出してもらうので、しっかり記入しておくこと。
5. 必要に応じて、タブレット端末を利用して、学習効果を上げる工夫をすること。